

# 成田市議会だより

No.71

平成25年 6月定例会

2013.8.1発行



はぶ  
埴生神社祭礼

7月13日、14日の両日に三ノ宮様として親しまれている埴生神社の祭礼が行われました。期間中は、朝顔ほおづき市も催され、14日には子供会の屋台が元気な掛け声とともに引かれました。(郷部)

主 な 内 容

議長・副議長就任	3	特別委員会	7
常任委員会	3	一般質問	9
議案と審議結果一覧	5	全国市議会議長会表彰	14
新たな議会構成	6	コーヒータ임	14

6月

定例会の  
あらまし

# 20議案を可決・同意・承認

## 地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正や吾妻小学校校舎増築工事請負契約の締結など

平成25年6月定例会は、6月7日に招集され6月27日まで21日間の会期で開かれました。定例会の初日には、17議案が上程されました。また、辞職に伴う議長・副議長の選挙および、各常任委員・議会運営委員の選任などが行われ、追加議案1件が同意されました。

11日には、空港対策特別委員の選任が行われ、また、新たに交通対策、健康づくりの2つの特別委員会が設置されました。

一般質問は、11日から3日間、15人の議員が登壇して行われ、13日には議案2件を同意しました。14日からは各常任委員会、特別委員会が開かれました。

最終日には、議案15件と発議案2件を原案どおり可決・承認し、また、請願2件を採択し、閉会しました。

### 6月定例会の日程

月 日	内 容
6月 7日(金)	本会議 (開会、会期の決定、全議案一括上程、追加議案審議)
11日(火)	本会議 (一般質問)
12日(水)	本会議 (一般質問)
13日(木)	本会議 (一般質問、議案質疑、議案審議、委員会付託)
14日(金)	建設水道常任委員会
17日(月)	経済環境常任委員会
18日(火)	教育民生常任委員会
19日(水)	交通対策特別委員会、健康づくり特別委員会
20日(木)	空港対策特別委員会
21日(金)	総務常任委員会
27日(木)	本会議 (会議録署名議員指名、議案・請願審議、閉会)





## 就任のあいさつ



うへだ のぶひろ  
第37代議長 上田 信博



かいほ しげき  
第39代副議長 海保 茂喜

平成25年6月定例会におきまして、私たちは、議員各位のご推挙をいただき、議長、副議長に就任いたしました。誠に身に余る光栄であり、その責任の重さを痛感しております。

現在、我が国はアベノミクスによる経済対策を初め多くの分野で改革が進められようとしております。日本銀行による金融政策により、景気回復の兆しが見え隠れしている中、地域経済の活性化や少子・超高齢社会への対応、環境・エネルギー問題、震災の教訓を踏まえた防災・減災対策など多くの課題への取り組みが求められています。

成田市においては、JR・京成成田駅中央口地区整備事業や学校適正配置に伴う学校施設整備などの大規模事業が進行される中、市議会といたしましては、市民の安寧と明るく健康で暮らせるまちづくりを推し進めていかなければなりません。また、成田市の持つポテンシャルを最大限に引き出し成田の魅力を発揮し続けることも今まで以上に望まれていると考えています。

今後とも、議会の改革と活性化を推進しながら、より開かれた議会運営を目指してまいります。市民の皆さまには、なお一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 常任委員会

本会議で委員会に付託された主な議案と審査内容の概要を紹介します。

※議案件名など一部省略しています。

### 総務 常任委員会

議案3件をいずれも可決・承認しました。  
所管事務について3件の報告を受けました。

### ▼専決処分の承認

#### (成田市税賦課徴収条例の一部改正＝専決第9号)

[内 容] 固定資産税において、独立行政法人「森林総合研究所」が行う整備事業に対する納税義務者の特例措置を廃止するとともに、減額措置の対象となる耐震基準適合住宅の申告に係る添付書類を追加する経過措置を設けるため、所要の改正を行ったもの。

[主な質疑] **問** 固定資産税の減額の対象となる耐震基準適合住宅の要件が、改修費30万円以上から50万円を超える額に見直されたことによる市民への影響は。

**答** ここ数年間の耐震改修に要した費用から判断すると、影響はあまりないと認識している。

### ▼市有財産の取得（消防ポンプ自動車 CD- I 型）

[内 容] 大栄消防署および大栄消防署下総分署に配備している消防ポンプ自動車が、購入後18年を経過し老朽化が著しいことから、2台を更新し、消防体制の充実強化を図るもの。

[主な質疑] **問** 何か地域的な特徴を考慮したのか。

**答** 大栄消防署管内には利根川があるため、水難活動時に必要となるボートトレーラーのけん引装置を装備した。

## 教育民生 常任委員会

議案5件をいずれも可決・承認し、請願2件を採択しました。  
所管事務について10件の報告を受けました。

### ▼成田市立吾妻小学校校舎増築工事（建築工事） 請負契約の締結

[内 容] はなのき台地区の宅地開発による児童数の増加に対応するため、普通教室4室、多目的教室1室、少人数教室2室などの増築工事について請負契約を締結するもの。

[主な質疑] **問** 吾妻小学校の想定児童数はピーク時でどのくらいか。

**答** 平成24年度の住民基本台帳に基づき推計したところ、平成30年度に775人となり、12教室が不足する。



▲校舎の増築が予定されている吾妻小学校（右側はプレハブ校舎）

## 経済環境 常任委員会

付託された議案は、ありませんでした。  
所管事務について8件の報告を受けました。

### ▼「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書

[主な意見] 教育の機会均等とその水準の維持向上は国の責務であり、地域間格差が生じないように、国庫負担制度の堅持を求める本請願に賛成する。

## 建設水道 常任委員会

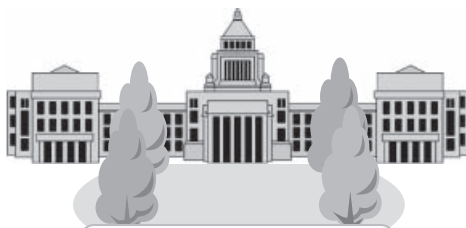
議案7件をいずれも可決しました。  
所管事務について4件の報告を受けました。

### ▼成田市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正

[内 容] 低層住宅を主体とする良好でゆとりのある住環境を確保するため、成田都市計画の中台三丁目地区地区計画が決定されたことから、地区計画に定めた建築制限について、本条例に加える改正を行うもの。

### ▼市道路線の認定（公津の杜1号線）

[内 容] 都市計画道路整備事業に伴い、公津の杜1号線を酒々井町道01-001号線に接続させるため、終点を酒々井町下岩橋へ変更し、改めて市道認定を行うもの。



## 意見書提出

### 国に意見書を提出

6月定例会では、議員から提出された議案（発議案）が可決され、国および関係行政機関に意見書が提出されました。  
提出された意見書は下記のとおりです。

- 義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書
- 国における平成26年度教育予算拡充に関する意見書



## 議案と審議結果一覧

議案番号	件名 ※件名は一部省略しています	議決結果	政友クラブ										豪政会			リベラル成田			公明党		共産党		市工									
			神崎 勝	福島 浩一	伊橋 利保	雨宮 真吾	佐久間 一彦	湯浅 雅明	小澤 孝一	秋山 忍	荒木 博	神崎 利一	村嶋 照等	石渡 孝春	平良 清忠	宇都宮 高明	海保 貞夫	飯島 照明	小山 昭	上田 信博	青野 勝行	伊藤 昌一	海保 茂喜	伊藤 竹夫	油田 清	一山 貴志	水上 幸彦	大倉 重雄	鶴澤 治	馬込 勝末	足立 満智子	會津 素子
◆ 議案																																
1	副市長の選任（関根 賢次）	同意	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	人権擁護委員の推薦（石井 富美江）	同意	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	成田市地区計画等の案の作成手続に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	成田市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	成田市都市公園条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	専決処分の承認（成田市税賦課徴収条例の一部改正＝専決第9号）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	専決処分の承認（成田市都市計画税条例の一部改正＝専決第10号）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	専決処分の承認（成田市国民健康保険税条例の一部改正＝専決第11号）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	成田市立吾妻小学校校舎増築工事（建築工事）請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	成田市立本城小学校学校給食共同調理場増築工事（建築工事）請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	成田国際文化会館改修工事（電気設備工事）請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	市有財産の取得（厨房機器等）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	市有財産の取得（消防ポンプ自動車 CD-I 型）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	市道路線の廃止（公津の杜1号線）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	市道路線の認定（公津の杜1号線）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16	平成25年度成田市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17	平成25年度成田市水道事業会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18	監査委員の選任（大倉 重雄）	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	○	○	○	○	○
◆ 発議案																																
1	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	国における平成26年度教育予算拡充に関する意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
◆ 請願																																
1	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	「国における平成26（2014）年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ ○=賛成、×=反対、退=退席、欠=欠席  
 ※ 議長（上田 信博）は採決に加わりません。  
 ※ 会派等の名称の略は次のとおり 共産党=日本共産党、市=無所属市民の会、エ=エコピースの会

## ❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖ **新たな議会構成** ❖❖❖❖❖❖❖❖❖❖

6月定例会において、常任・特別委員会、議会運営委員会等の委員の選任が行われ、新委員と正副委員長などが決まりました。

### 常任委員会

#### 総務 (8人)

〔所管事項〕 企画政策部、総務部、財政部、空港部、会計室、監査委員、選挙管理委員会、消防、議会の所管に属する事項および他の常任委員会の所管に属さない事項。

- 委員長 飯島 照明
- 副委員長 足立満智子
- 委員 神崎 勝 雨宮 真吾 小澤 孝一
- 秋山 忍 海保 茂喜 大倉富重雄

#### 教育民生 (8人)

〔所管事項〕 市民生活部、福祉部、健康子ども部、教育委員会の所管に属する事項。

- 委員長 伊藤 竹夫
- 副委員長 水上 幸彦
- 委員 福島 浩一 神崎 利一 馬込 勝未
- 上田 信博 平良 清忠 宇都宮高明

#### 経済環境 (7人)

〔所管事項〕 環境部、経済部、農業委員会の所管に属する事項。

- 委員長 伊藤 昌一
- 副委員長 會津 素子
- 委員 佐久間一彦 鷗澤 治 荒木 博
- 石渡 孝春 青野 勝行

#### 建設水道 (7人)

〔所管事項〕 土木部、都市部、水道部の所管に属する事項。

- 委員長 小山 昭
- 副委員長 一山 貴志
- 委員 伊橋 利保 湯浅 雅明 村嶋 照等
- 油田 清 海保 貞夫

### 議会運営委員会 (10人)

〔所管事項〕 議会の運営に関する事項、議会の会議規則・委員会に関する条例等に関する事項、議長の諮問に関する事項。

- 委員長 油田 清
- 副委員長 小山 昭
- 委員 小澤 孝一 荒木 博 伊藤 竹夫
- 馬込 勝未 石渡 孝春 平良 清忠
- 宇都宮高明 大倉富重雄

### 特別委員会

#### 空港対策 (12人)

〔設置目的〕 空港と共存共栄を図り、市民がよりよい生活を送れるよう、空港に関する諸課題について調査研究を行う。

- 委員長 宇都宮高明
- 副委員長 神崎 勝
- 委員 伊橋 利保 佐久間一彦 小澤 孝一
- 水上 幸彦 海保 茂喜 伊藤 竹夫
- 神崎 利一 上田 信博 青野 勝行
- 海保 貞夫

#### 交通対策 (9人)

〔設置目的〕 地域の特性に合った効率的な交通体系および交通弱者たる子どもや高齢者のための交通安全施策について調査研究を行う。

- 委員長 雨宮 真吾
- 副委員長 福島 浩一
- 委員 會津 素子 小山 昭 鷗澤 治
- 湯浅 雅明 村嶋 照等 油田 清
- 大倉富重雄

#### 健康づくり (9人)

〔設置目的〕 市民一人ひとりの健康で生きがいを持った生活を支えるべく健康づくりへの取り組みについて調査研究を行う。

- 委員長 平良 清忠
- 副委員長 荒木 博
- 委員 飯島 照明 一山 貴志 伊藤 昌一
- 秋山 忍 足立満智子 馬込 勝未
- 石渡 孝春

### 市議会議員団 (9人)

議員相互の融和と円満な議会運営に寄与することを目的に組織され、研修会等を開催し、議員の資質向上、議員活動の充実に努める。

- 団長 伊藤 竹夫
- 副団長 一山 貴志
- 幹事 會津 素子 飯島 照明 小山 昭
- 湯浅 雅明 小澤 孝一 荒木 博
- 神崎 利一

### 市議会だより編集委員会 (6人)

- 委員長 海保 茂喜
- 副委員長 足立満智子
- 委員 飯島 照明 福島 浩一 伊藤 昌一
- 水上 幸彦

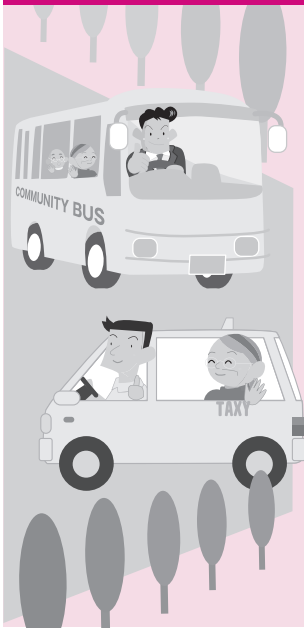




# 特別委員会

委員会で報告された内容の一部を要約して紹介します。

## 交通対策 特別委員会



### ●都心直結線

国土交通省は、都心と成田空港、あるいは成田、羽田両空港間の鉄道アクセスについて、平成25年度の予算に、都心ー空港・郊外直結鉄道、いわゆる都心直結線についての調査費を計上したとのことでした。

この整備にあたっては、大深度地下<sup>注1</sup>を利用することとし、多大な事業費を捻出するため、PFI<sup>注2</sup>を活用し、民間投資を呼び込むことも検討しているとのことでした。

**[主な質疑]** **問** この都心直結線について、成田市の受けとめ方は。

**答** 成田空港と羽田空港が直結線で相互補完し合うことは大変有意義な手段であり、ひいては成田市の振興、発展に結びつくと考えている。

注1 通常利用されることのない非常に深い場所のこと。

注2 プライベート・ファイナンス・イニシアティブの略で、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力および技術的能力を活用して行う手法のこと。

### ●成田市オンデマンド交通実証実験

平成25年4月1日からは運行範囲を市内全域に拡大し、実証実験運行を実施しており、5月末現在の利用登録者数は1,360名で、乗降場は661カ所が設定され、行き先の上位は、成田赤十字病院、成田病院、およびジャスコイオン成田店とのことでした。

また、コミュニティバスの利用者数は増加傾向にあるため、オンデマンド交通<sup>注3</sup>実証実験運行による大きな影響は現在ないものと考えているとのことでした。

**[主な質疑]** **問** セダン7台で運行ということで、予約が取れないということはないか。

**答** 1日144件の利用を見込んでいるが、まだそこまでは到達していないため、予約が取れないということは今のところない。

注3 家から歩いていける範囲に乗降場を設けた乗合型のタクシー運行。

## 健康づくり 特別委員会



### ●介護予防事業

高齢者が要支援、要介護状態とならずに、自立した日常生活を営むことができるように支援する事業であり、一般の高齢者を対象とする一次予防事業と、要支援、要介護状態になる恐れのある方を対象とする二次予防事業があるとのことでした。

**[主な質疑]** **問** 平成24年度の介護予防の事業実績は。

**答** 一次予防事業のシニア元気アップ教室は、成田市社会福祉協議会へ委託したものに153人、NPO法人へ委託したものに58人の参加者があり、もの忘れ相談の相談件数は15件となっている。

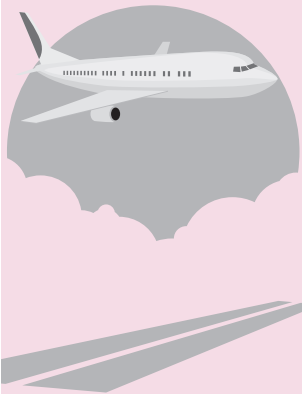
二次予防事業の運動器機能向上支援事業には96人、口腔機能向上および低栄養改善事業に50人、認知症予防支援事業に55人の参加者があり、訪問型介護予防事業では167人を訪問した。

### ●地区保健推進員事業

非常勤特別職として委嘱された40人の地区保健推進員が、各地区の状況に合わせ、健康に関する情報伝達活動を実施しているとのことでした。

主な活動としては、成田市で実施している赤ちゃん相談や1歳6カ月児健診時の協力、健康と栄養の教室により学んだ内容を地域住民に伝える講習会の開催などを行っているとのことでした。

## 空港対策 特別委員会



### ●カーフューの弾力的運用

平成25年3月29日に、成田空港に関する四者協議会<sup>注4</sup>が開催され、「成田空港の離着陸制限（カーフュー<sup>注5</sup>）の弾力的運用に関する確認書」において、生活環境保全の視点から、弾力的運用を最小限とすることや、6項目の事項を遵守することを確認し、その実施について合意をしたとのことでした。

カーフューの弾力的運用については、現在までに8機が制度の適用を受けており、内訳は、急病人の発生1件、出発地空港の悪天候4件、出発地空港の滑走路閉鎖や空域使用制限2件、目的地空港の悪天候による引き返しが1件となっているとのことでした。

また、成田国際空港株式会社のホームページに、カーフュー内運航を行った航空会社名、便名、離着陸時間、遅延理由等を掲載するとともに、地域住民に対するメール配信を6月15日から開始したとのことでした。

**[主な質疑]** **問** 騒音地域住民の健康調査についてどういったスケジュールで行っていくのか。

**答** 成田国際空港株式会社から独立した第三者委員会を立ち上げるために準備している。

注4 国、千葉県、空港周辺9市町および成田国際空港株式会社で構成される協議会。  
注5 空港周辺騒音防止対策の為に航空機の離着陸を禁止している時間帯。

### ●民家防音工事の施工内容の充実

事業主体を成田空港周辺地域共生財団とし、平成25年7月1日より民家防音工事助成拡充工事として実施されるとのことでした。

この工事については、騒防法の第一種区域および谷間地域のC工法<sup>注6</sup>またはC工法に準じた防音工事対象家屋において、壁および天井部分に対する騒音対策として新たに制度化するものであるとのことでした。

**[主な質疑]** **問** 1人世帯の限度額について120万円ということだが、十分足りるのか。

**答** 限度額については成田国際空港株式会社のB工法<sup>注7</sup>を参考に積算しているが、個々の住宅により条件が異なるため、設計の段階で協議しながら実施していきたい。

注6 玄関、窓、掃き出し、土間、はめ殺し、トイレおよび風呂の扉の防音対策。  
注7 C工法に、壁、天井に減音材を加えた防音対策。

## 議会を傍聴してみませんか

本会議はもちろん、常任委員会・特別委員会の様子を傍聴することができます。

皆さんが選んだ議員の活動や、市政について知るためにも、ぜひ傍聴にお越しください。

日程や一般質問の質問項目は、市議会ホームページで確認するか、議会事務局までお問い合わせください。

## 傍聴受付

※会議の始まる30分前から受付

- 本会議（64席・車椅子用2席）  
→議会棟4階 傍聴席入口  
1階福祉部右側エレベーターをご利用ください。
- 委員会（10席）  
→議会棟2階 議会事務局



# 一般質問

議員が市政の方針や考え方を市長などに聞くものです。質問と答弁の内容を要約して掲載しています。

## 1. SNSを活用した行政運営

飯島照明 議員



**問** SNS注8は日常生活に欠かすことのできない情報入手ツールとなり、大きな影響力を持ちつつある。双方向型の新しいコミュニケーション機能を有するSNSが広く普及し、フェイスブックは、この機能が特にすぐれているといわれている。SNSを企業や自治体が利用している事例も数多く見受けられ、フェイスブックを活用して市民の声を集め市政に生かす取り組みを始めている自治体も出てきた。オープンガバメント注9に向けて、今まで以上にSNSを活用すべきと考えるが、成田市の見解を伺う。

**答** SNSについては、広報紙やホームページと同じように行政情報の発信や、市民とのコミュニケーションのための有効な手段の一つであると認識している。開かれた市政を運営することは、成田市にとって大変重要であり、様々な手段や情報発信ツールを使用して行政情報を伝えることが必要である。今後は、SNSの持つ迅速な情報発信などの特徴やその有用性を十分発揮できるよう、先進市での取り組み状況を参考に活用の検討を進めたいと考える。

### その他の質問

◆ 公用車による事故防止に向けて

注8 ソーシャル・ネットワーキング・サービスの略でインターネットを利用して人と人とのコミュニケーションの場を構築するサービスのこと。注9 透明で開かれた政府を実現するための政策のこと。

## 2. 農家経営と土地改良施設

福島浩一 議員



▲老朽化した土地改良区の用水管の補修工事

**問** TPP注10交渉参加や政策の変化、円安の影響による資材の高騰等により農家の経営はますます悪化の一途をたどっているが、成田市としての対応策は。また、市内の各土地改良区でも施工から数十年が経過し、施設の老朽化に伴い、維持管理費の増大が余儀なくされており、農家の負担も増えている現状だが、どのような対応策を考えているのか。

また、幾つかの土地改良区では国の既設の補助事業の他に、新規事業である農業水利施設保全合理化事業や農業基盤整備促進事業を活用し、老朽化施設の更新を行っている。成田市としては、補助事業による地元負担分に対する一部助成や市単独での修繕および原材料の支給により農家の負担を軽減するなど、施設の長寿命化を図っており、東日本大震災では土地改良区の災害復旧にかかる事業費の全額を補助し支援を行った。

**答** 国、県の補助事業を積極的に活用し、各関係機関とも連携して、今後示される成長戦略に基づく国の施策に対応し、農業の競争力を高め、経営の維持発展に努めていく。

### その他の質問

◆ 還暦式を成田市で実施する考えはあるか

注10 環太平洋戦略的経済連携協定で加盟国間で取引される全品目について関税を撤廃しようという協定。

## 3. 「アベノミクス」と自治体財政

足立満智子 議員



▲東京証券取引所の取引の様子

**問** アベノミクス3つの基本方針のうち日銀の「異次元の金融政策」による円安株高は、一部の輸出産業に好景気をもたらす一方、輸入原材料の値上がりやインフレ目標2%により金利や物価の上昇で国民生活に影響が広がり始めている。「アベノミクス」が地方財政に恩恵をもたらすには時間がかかるという調査結果が出ている。「成長戦略」では第3弾発表中に株が急落した。アベノミクスは自治体財政にどのような影響をもたらすのか。また市税、地方交付税、地方債発行、資金調達などへの影響についてどう考えるか。

**答** 成田市財政への影響は、市税では経済対策を通じて企業業績の改善、設備投資の拡大、雇用環境の改善による税収増が期待できるが、効果があらわれるには時間がかかる。普通・特別地方交付税として当初予算に計上した24億円は確保できる見込みのため影響はない。地方債発行、資金調達については、低金利で借り入れており、今後金利が上昇しても金融緩和政策による低金利状況は当面継続すると予想されるので資金調達コストが急増する可能性は低い。

### その他の質問

◆ 成田市公害防止条例



## 4. 老障介護

青野勝行 議員



**問 >>>** 高齢者が障がいを持った子や兄弟を介護する老障介護問題が現在増加傾向にある。一番の課題は高齢者福祉と障がい者福祉の双方が関連するため担当課が異なり、問題が表面化しにくいことである。また、介護保険法、障害者総合支援法と制度が異なるため双方の専門知識を持つ職員による総合的判断をしないと対応が難しいなど、現状の把握すら困難なケースも多くある。老障介護は対応が遅れると生命の危機に直結するため早急な現状の把握と支援策をお願いしたい。そこで、成田市では、老障介護の実態を把握しているのか伺う。

**答 >>>** 成田市の身体障害者手帳、療育手帳、精神保健福祉手帳の所持者のうち高齢者のみとの同居世帯は平成25年3月末現在で404名である。現状は、福祉担当課の窓口や障がい者相談センターなどで相談を受け、また、障害者相談員や民生委員から情報提供を受けるという受動的な把握が主である。そこで成田市では、福祉サービスの利用がない世帯への訪問調査を実施するとともに、成田市内の福祉団体や支援団体の協力により一層の実態把握に努めていく。

その他の質問  
◆空港周辺開発

## 5. 防犯カメラの整備

神崎 勝 議員



**問 >>>** 防犯カメラは、犯人を捜す場合にも役立つのは周知のとおりであるが、誰かが失踪や犯罪に巻き込まれた可能性がある際にも絶大な効果がある。また、不審者の捜索のためだけではなく、いたずら行為の抑止や地域の安全安心を守るためにも十分な効果を発揮し続けている。各地域で不審者情報が多発している現状の中で、遠山地区でも近隣の小中学校PTAから防犯カメラの設置要望や危険箇所への設置要望があるが、今後の通学路を含めた防犯カメラの整備予定を伺う。

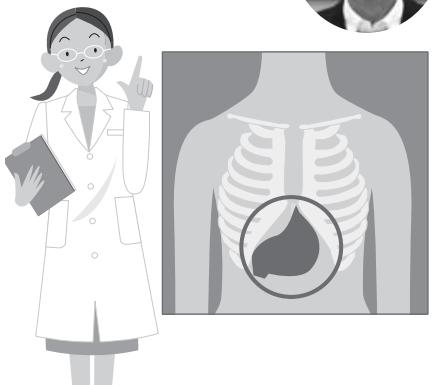
置計画は、表参道沿いの仲町から本町の間で4カ所に5基、公園関係で三里塚第一公園、三里塚記念公園、公津の杜近隣公園など13カ所に14基、通学路で宗吾保育園付近の北側の緑道で3カ所3基、駅周辺で久住駅周辺、JR成田駅西口に2カ所3基、合計で22カ所25基の設置を計画している。

その他の質問  
◆特別養護老人ホームと介護老人保健施設整備  
◆市内建設業の育成

**答 >>>** 平成25年度の具体的な設

## 6. 胃がん対策

一山貴志 議員



**問 >>>** 現在、成田市で行われている検診とは別に、胃がんになりやすいかどうかを診断し、発症リスクの高い人に対して原因となるピロリ菌の除菌や定期的な精密検査を勧める胃がんリスク検査というものがある。この検査方法は、従来のバリウムを飲むレントゲン法とは異なり、食事制限はなく、わずかな採血のみで診断でき、早期がんの発見率が高く、費用も安価であることが特徴である。胃がん対策として、早期発見、早期治療のために導入してはどうか。成田市の見解を伺う。

液による簡便な検体検査であり、新しい検査方法である。国は、現時点では死亡率の減少を示す根拠が不十分であるため、あくまでも将来胃がんになりやすいリスクを示す検査であり、バリウム検査の補助に過ぎないとしていることから、成田市としても補助的な検査と考えており、導入については、既に実施している自治体の事例を研究し、成田市医師団の検診部会と協議をしていく。

その他の質問  
◆骨髄ドナーの継続的確保  
◆教員のメンタルヘルス対策

**答 >>>** 胃がんリスク検査は、血





## 7. 子宮頸がん予防 (HPVワクチン)

會津素子 議員



**問** 子宮頸がんの原因とされているヒトパピローマウイルス<sup>注11</sup>は皮膚と粘膜にいてごくありふれたものであり、検診と早期治療により、浸潤する前にがんを防ぐことができる。平成25年3月の全国子宮頸がんワクチン被害者連絡会の設立を機に予防接種によるHPVワクチン<sup>注12</sup>の被害が表面化しているが、その因果関係を証明し、副反応と認められるのは非常に困難である。また、副反応の確率も高く、重篤な症状になっても十分な補償がもらえないなど、非常に多くの問題を抱えていると思う。このHPVワクチン定期接種化に対する成田市の見解を伺う。

<sup>注11</sup> 子宮頸がんの原因物質に特定されたウイルスとして知られる。

<sup>注12</sup> ヒトパピローマウイルスワクチン。

**答** 感染症の予防の立場から対象者に予防接種を受ける機会の提供をし、接種を希望する者に対して、予防接種の内容、有効性、安全性、副反応、その他の接種に関する注意事項について十分な情報提供を行うとともに、国の動向を注視していきたい。

### その他の質問

- ◆ 予防接種法改正でHPVワクチンの位置付けは
- ◆ HPVワクチンの副反応の報告は
- ◆ 性教育の中で子宮頸がんやワクチンの正しい情報提供を

## 8. クレジットカードによる税金納付

雨宮真吾 議員



**問** 平成18年6月の地方自治法の改正によりクレジットカードによる納税が法的に可能となったため、リボ払い、ボーナス払いといった支払いのバリエーションも増えるほか、利用によるポイントの獲得ができるなど、市民側のメリットが大きい。また、市側においても手数料の問題があるが、納税者に対する利便性の向上の実現、収納率、期限内収納率の向上が期待されるなどのメリットも大きい。手数料の問題と滞納および滞納処理に係るコストを比較検討し、成田市としてクレジットカードによる納付をどのように考えていくのか伺う。

**答** 近年、クレジットカード納税に係る手数料について、納税者に応分の負担を求めることで、様々な納付方法と同等の徴収経費に抑えることができる納付環境が整ったことから、成田市として、納税者のさらなる利便性の向上と納付機会の拡大による収収確保を図るため、導入に向け検討していく。

### その他の質問

- ◆ 不妊治療費助成制度の創設
- ◆ 不育症治療助成事業の創設
- ◆ 指定学区外進学における今後の部活動の在り方

## 9. 自助・共助・公助の役割

小山 昭 議員



**問** 災害発生直後に、公助はどの程度期待できるのか。市役所なども被災者となるため、市民にとってはいつ助けに来てくれるのか不安でならない。そこで、常々言われている自助・共助が大変必要になってくる。しかし、自助・共助を行うに当たって、我々はどこまで期待されるのか。自助・共助・公助の役割について伺う。

**答** 公助とは市職員、消防、警察などによる救助活動や支援物資の提供、自助とは家屋の耐震対策、水や食料を備蓄するなど自らの力で被害を最小限に食い止める努力、共

助とは地域住民同士がお互いに助け合うことである。大規模災害では、広域的な被害が予想されるため、初動時における公助には限界がある。これまでの震災では住民同士の助け合いにより多くの命が救われたことから、自助・共助の役割は大変重要であり、成田市では共助の中核を担う自主防災組織の設立や育成を促進し、地域防災力の向上を図っている。

### その他の質問

- ◆ 災害状況の情報収集方法
- ◆ 市内企業との災害時の応援協定
- ◆ 成田湯川駅の運賃とダイヤ問題



## 10. カーフェューの弾力的運用の検証と今後の対応



小澤孝一 議員



**問** 当初、カーフェューの弾力的運用の提案にあった早朝5時台の着陸は除外され、やむを得ない事由に限り午後11時台の離着陸が可能になったが、今後、発着回数が増加した場合には、過密なダイヤ編成なども予想され、離着陸制限時間についてもなし崩し的に広がってしまう可能性があるのではと懸念される。本当に、なし崩しにならないのかどうか、いま一度成田市の考えを伺う。

**答** 四者協議会で合意した成田空港の離着陸制限（カーフェュー）の弾力的運用に関する確認書において、現行の成田空港の離着陸制限時

間およびA・B滑走路とも10便までとしている22時台の便数制限を引き続き厳守するとともに、弾力的な運用が最小限となるよう航空会社の指導を強化すること、また弾力的な運用によって、なし崩し的に運用時間が拡大することのないよう23時以降に新たなダイヤを設定しないことを確認している。よって、なし崩し的に運用時間が拡大することはない。

### その他の質問

- ◆騒音地区住民の健康影響調査
- ◆成田市の農業政策将来ビジョン
- ◆農産物の消費拡大に対する成田市の取り組み

## 11. 特別支援学校の分校を成田市に

大倉富重雄 議員



▲過密化している富里特別支援学校

**問** 全国的にも特別支援学校の過密化が進んでいる。平成22年9月議会での私の質問に対し、成田市としても、できればその分校となるような学校を提供したいとの答弁があった。現在、児童生徒数240名、教職員数124名おり、職員室が分散するなど大変多くの課題を抱えている富里特別支援学校の視察を終えて通学者の半数を占めている成田市が分校を提供してほしいと今まで以上に強く感じた。そこで、富里特別支援学校の分校として学校跡地等を活用できないかと考えるが、成田市の見解を求める。

**答** 学校跡地利用検討委員会において、特別支援学校としての活用も案の一つとしている。平成25年度に、閉校予定の学校も含めて全市的視点から跡地に導入すべき必要機能や導入に当たっての条件、法制度などの調査を実施する。その調査の中で、特別支援学校としての活用の可能性も検討する。

### その他の質問

- ◆老人福祉センター移転計画
- ◆人材育成と職員の分限処分
- ◆保育園の給与格差の是正

## 12. 幼児と児童生徒の食育とアレルギー対応

水上幸彦 議員



**問** 平成24年12月の東京での急性アレルギー反応による児童の死亡事故を受け、成田市では保育園、学校において、アレルギー症状の発生時の対応について、どのように指導しているのか。

**答** 保育園ごとにDVDを用いたアレルギー対応の研修会を行うとともに、保育園2園では、主事医のもとにアナフィラキシーショック<sup>注13</sup>となった場合のエピペン<sup>注14</sup>の使用方法を学習してきた。平成25年8月には、市内の保育園・幼稚園の職員を対象に医師による食物アレルギー対応の研修やエピペンを実際に使用し

た体験学習を行う予定である。学校では、保護者からアレルギー疾患に関する情報を提供してもらい、全職員で共通理解をし、緊急時に対応できる体制をとっている。アナフィラキシーショックに備え、全職員だれもがエピペンを使用して確実に対処できるよう、実技研修を行っている。また、保護者の同意を得た上で、消防本部にも情報提供を行い、緊急時の速やかな対応を心がけている。

### その他の質問

- ◆公文書管理と情報公開
- ◆市民の安全・安心
- ◆市民協働の考え方と取り組み

<sup>注13</sup> ハチ毒や食物、薬物等が原因で起こる急性アレルギー反応のひとつ。 <sup>注14</sup> アナフィラキシー発症の際に医療機関へ搬送されるまでの症状悪化防止に役立つ緊急補助治療に使用される医薬品。



### 13. 親子方式における学校給食の在り方

油田 清 議員



▲4月から運用を開始した公津の杜中学校学校給食共同調理場

**問 >>>** 平成25年4月から親子方式<sup>注15</sup>による給食制度が公津の杜中学校でスタートし、これから15年かけて全ての学校で親子方式へと移行していく。学校給食は、子どもたちの栄養確保を目的とした時代から、食教育の一環として位置付けようとする時代へと変化してきており、農業振興の責任者たる行政が直接的に地産地消を実践できる唯一の場とも言える。今後、地元農家グループと契約栽培等をする必要ではないか。また、アレルギー除去食の取り組みと専門職員の配置について伺う。

**答 >>>** 親子方式では、地元産の

<sup>注15</sup> 親となる学校で調理した給食を近隣の子となる学校へ配送する方式。

食材が利用しやすくなるため、地域の食材を安定的に調達することを目指し、生産状況の確認や供給体制の確立に向け、庁内関係部署および農業団体を交えて調整を進めている。アレルギー除去食は、2学期をめぐりに卵と乳の除去食の提供から始め、対象品目を徐々に増やしていきたい。専門職員の配置は、仕事量の増大が見込まれるため検討が必要になる。

**その他の質問**

- ◆障害者雇用促進法に基づく政令改正と成田市の現状
- ◆教育長の教育方針と小中一貫・連携教育の在り方

### 14. 学校給食費の助成を

馬込勝未 議員



**問 >>>** 神崎町では、平成24年度より給食費の2分の1の助成を始めた。学校給食法施行時の通達では、「保護者の経済的負担の現状から給食費の一部補助を禁止する意図ではない」とのことから、行政が助成しても構わないのではないかと。また平成20年に給食の目的が栄養改善から食育中心へと転換され、教育の場として学校給食法が位置付けられた。給食の食材はその意味では教材の1つという見方ができるのではないかと。義務教育は無償との大原則に戻り給食費への助成もやるべきではないかと。

**答 >>>** 学校給食法に、給食の実

施に必要な施設および設備に関する経費や給食の運営に要する人件費、維持管理費は設置者である市が負担し、その他の給食に要する経費である学校給食費については、保護者の負担とすると規定されている。よって、食材料費である給食費について助成することは難しいと考えている。

**その他の質問**

- ◆住宅リフォーム助成制度の実施を
- ◆市長には現行憲法の尊重・擁護の義務がある
- ◆基本的人権の制限をする自民党の改憲草案

### 15. 夜間騒音から住民の暮らしを守って

鵜澤 治 議員



**問 >>>** コース直下に暮らす住民は、睡眠妨害と落下物の危険にさらされ、休まる日は1日もない。市長は、カーフェュー提案を数カ月で同意し、住民の悲痛な声を置き去りにした。安倍政権の産業競争力会議が成田3本目の滑走路の増設や運用時間のさらなる制限緩和等々の提言をしている。国から新たな提案があった場合、その判断は国策優先で決着させるのか。市長の見解を求める。

**答 >>>** 平成25年3月29日の四者協議会で合意した成田空港の離着陸制限（カーフェュー）の弾力的運用に関する確認書において、現行の成田

空港の離着陸制限時間およびA・B滑走路とも10便までとする22時台の便数制限を引き続き厳守するとともに弾力的な運用が最小限となるよう航空会社の指導を強化すること、また弾力的な運用によって、なし崩し的に運用時間が拡大することのないよう23時以降に新たなダイヤを設定しないことを確認しているため、弾力的運用については、厳格に運用され、さらに拡大することはない。

**その他の質問**

- ◆市民の安心医療
- ◆市民の付託に応えるごみ清掃行政を

## 全国市議会議長会より表彰状・感謝状

永年にわたり、地方自治の発展と市政の進展に尽力された功績により、全国市議会議長会より次の5氏が表彰されました。

また、宇都宮高明議員には、正副議長として5年努められたことに対し表彰状が、また全国市議会議長会特別委員の職を務められたことに対し感謝状が贈られました。



宇都宮高明 議員  
《議員在職26年》  
《正副議長在職5年》



神崎利一 議員  
《議員在職10年》



伊藤竹夫 議員  
《議員在職10年》



海保茂喜 議員  
《議員在職10年》



荒木 博 議員  
《議員在職10年》



## 市議会だより編集委員会より

6月より市議会だより編集委員が新メンバーとなりました。これからも、市民の皆さんに議会を身近に感じていただけるよう、より良い紙面作りに努めてまいります。



後列 飯島照明委員、福島浩一委員、伊藤昌一委員、水上幸彦委員  
前列 足立満智子副委員長、海保茂喜委員長

## コーヒータイム



自治体に関わる議員や職員は、難しい法律用語を市民が理解できる言語でわかりやすく説明する技術を身につける必要があります。いろいろな政策や規則をわかりやすい言葉で説明するという当たり前のことがこれまでほとんど考慮されていませんでした。

これは一見簡単そうに見えますが、わかりやすく説明することは、相当な訓練と工夫、そしてノウハウが必要とされます。「話し言葉で書き、書くように話す」これは説明責任が求められる現在、議員や職員が身につけなければならない能力だと考えます。

私たち編集委員もそうした技術を修得し、今後も市民にわかりやすい市議会だよりを提供し続けていきたいと思っております。

市議会だより編集委員長 海保 茂喜

## 9月定例会は、8月30日(金)開会予定です。

「成田市議会だより」についてのお問い合わせは、市議会事務局へ。

〒286-8585 成田市花崎町760

TEL 0476(20)1570(直通) FAX 0476(24)0336

成田市議会

検索



「成田市議会だより」は、グリーン購入法に基づく基本方針の判断基準を満たす用紙を使用しています。

リサイクル適正(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

PRINTED WITH  
SOYINK™  
環境に優しい大豆インクを使用しています。